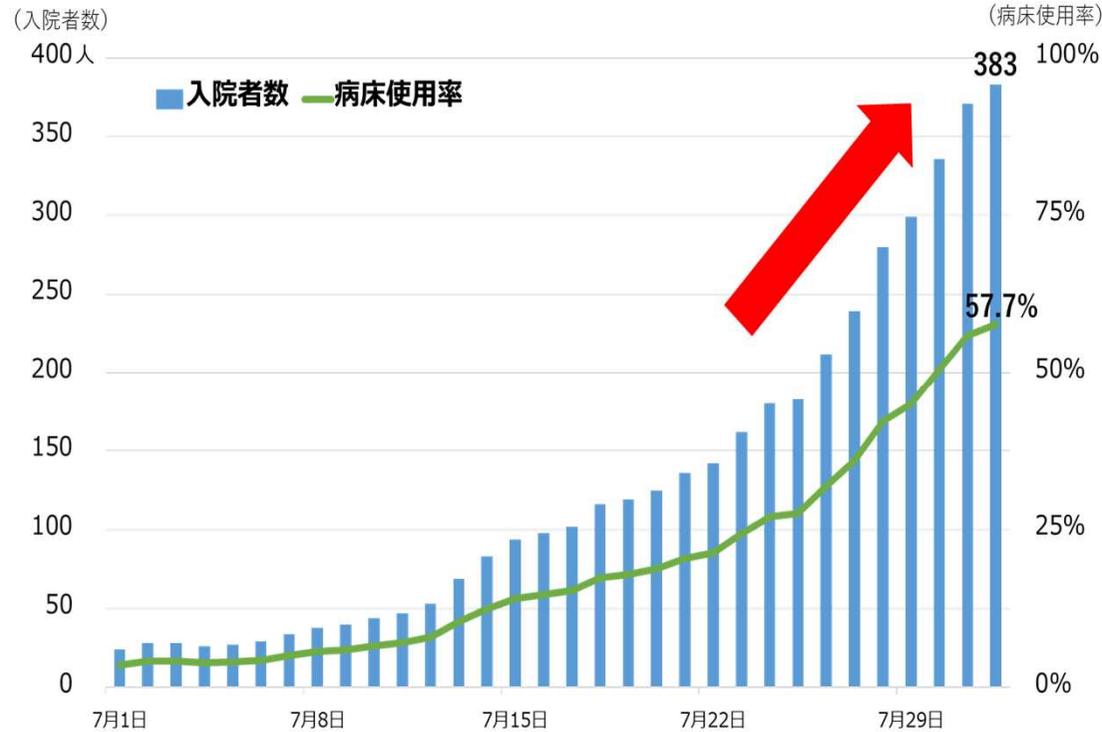


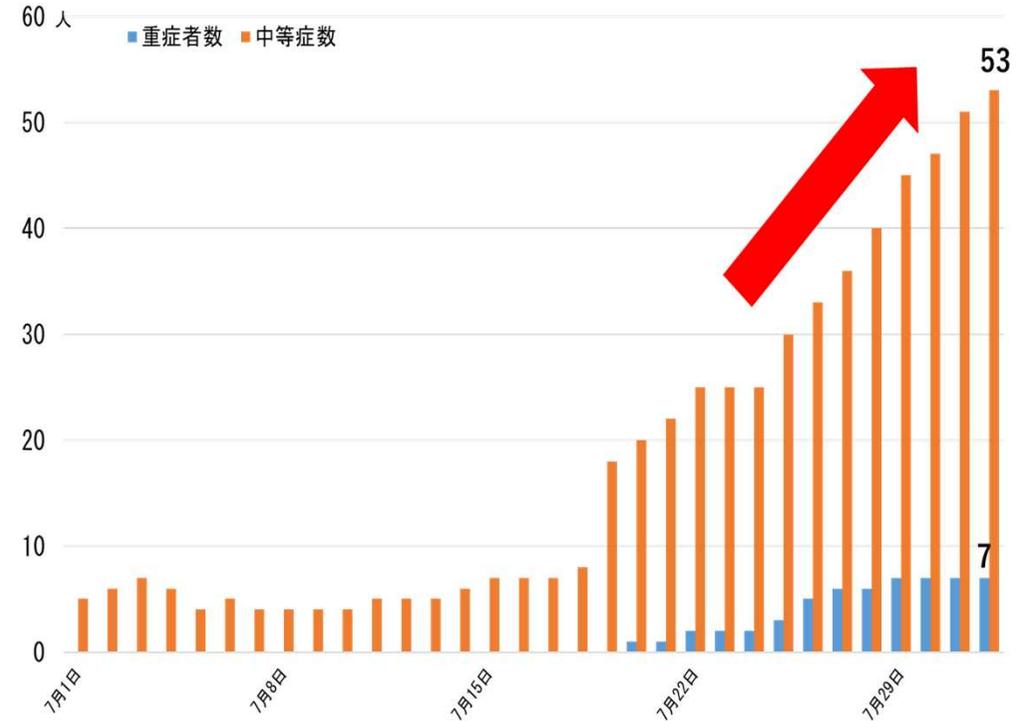
現状と今後の見通し

- 感染拡大に伴い、医療のひっ迫傾向が見られている。

入院者数



重症者・中等症者数

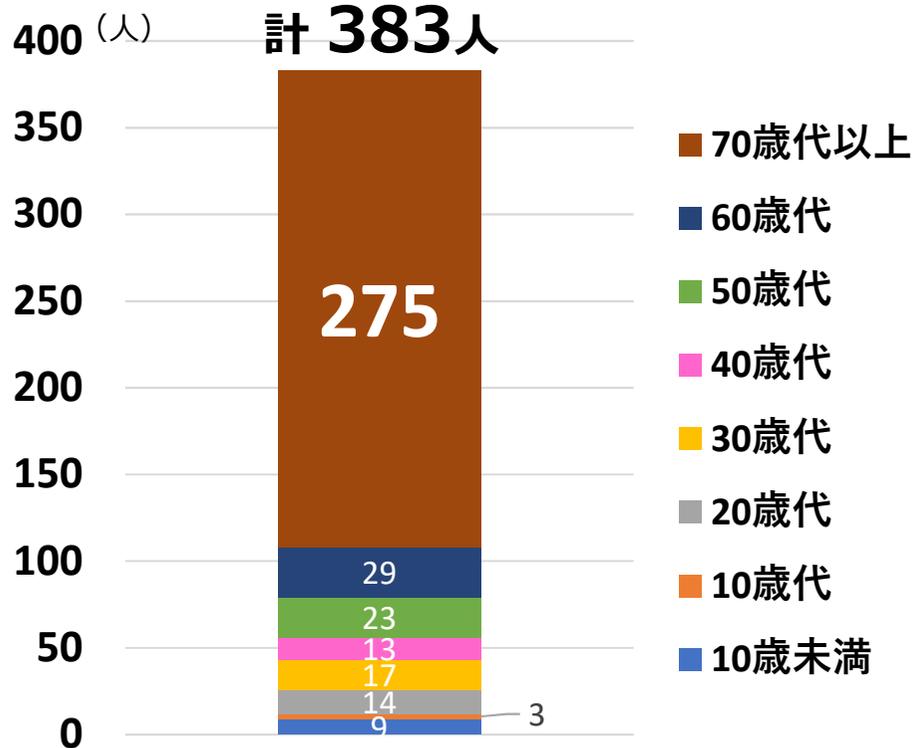


- ✓ 感染者急増に伴い、入院者・中等症者・重症者が増加
- ✓ 医療の負荷が増大しており、この感染拡大が続いた場合、医療のひっ迫は免れない

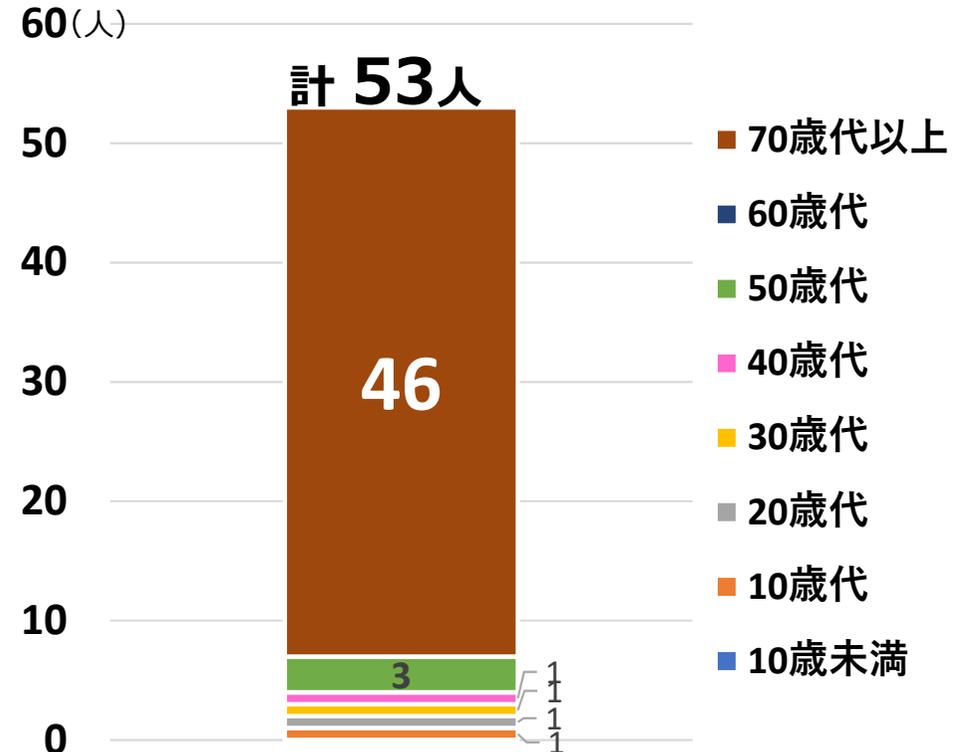
現状と今後の見通し

- 入院者・中等症者は、高齢者が大きく占める。

R4.8.1時点 入院者の年代別人数



R4.8.1時点 中等症者の年代別人数



- ✓ 高齢者は特に重症化リスクが高く、今後も入院者・中等症者が増加する懸念がある



BA.5対策を強化する必要がある

新潟県「BA.5対策強化宣言」①

重症化リスクの高い高齢者等の命と健康を守るため、
「BA.5対策強化宣言」を発令し、
県民・事業者のみなさまへ協力要請を行います

期間：令和4年8月5日～8月31日

※特に、**お盆を含む2週間（8/8～8/21）**は
「集中対策強化期間」とします

新潟県「BA.5対策強化宣言」②

(1) 県民への協力要請（新型インフル特措法第24条第9項）

これまでも基本的な感染防止対策の徹底をお願いしてきたところですが、さらに以下の点にご協力をお願いします。

- ✓ **高齢者（65歳以上）や基礎疾患を有する者、同居する家族等は感染リスクの高い行動を控えて**

・マスクを外して会話（特に、飲食前後の場面） ・マスクをしていても継続的な発声 等

感染リスクの高い行動をとった場合、その後3日程度、家庭内での感染防止対策の徹底を

・家庭内でも会話の時はマスク着用 ・食事時間を分ける ・共有部の消毒 等

- ✓ **発熱外来の受診の前に、抗原定性検査キット配布事業の活用を**
症状が軽く、重症化リスクが低いと考えられる者（別紙）

- ✓ **大人数（概ねマイクなしでは声が届かない人数）での会食の場合、感染リスクが低い方法の検討を**

・短時間で ・会話をする際はマスク着用 ・参加者同士の距離を確保できる方法で 等

新潟県「BA.5対策強化宣言」③

(2) 事業者への協力要請（新型インフル特措法第24条第9項）

改めて、以下の点についてご協力をお願いします。

- ✓ **在宅勤務（テレワーク）等の推進**
- ✓ **高齢者施設、学校・保育所等の感染対策の徹底**
- ✓ **飲食店において十分な換気や、座席の間隔の確保又はパーティションの設置等を**
- ✓ **大規模な参加型イベントは、感染防止安全計画に定めるマスク着用など感染対策の徹底を参加者に周知**
- ✓ **職場等においては、従業員等に対して医療機関の診断書や陰性証明を求めない**

別紙 発熱外来ひっ迫を回避するための 有症状者への抗原定性検査キット配布

有症状者への抗原定性 検査キット配布事業

有症状

熱、せき、のどの痛みなど



AI救急相談アプリも活用

LINEから気軽に救急車要請や医療機関受診の必要性、対処方法のアドバイスを受けられる

<https://www.pref.niigata.lg.jp/site/aikyukyu/>



重症化リスク注が高い方

重症化リスクが低い方

注) 重症化リスク

以下のいずれかに当てはまる方

- ・ 年齢65歳以上※
- ・ 基礎疾患（慢性閉塞性肺疾患・慢性腎臓病・糖尿病・高血圧・心血管疾患など）がある方
- ・ BMI30以上
- ・ 妊娠している方

症状や希望等に応じて、かかりつけ医や受診・相談センターへの連絡も可

抗原定性検査キットを県ホームページより申請

自宅に届いた検査キットを使用

陽性

陰性

・ かかりつけ医
・ 受診・相談センター へ連絡

・ 診療・検査医療機関
・ 地域外来・検査センター で受診・診断

医療機関等で診断後、療養開始へ

・ 軽快まで外出・人と会うことを控える
・ 症状が軽快しない場合かかりつけ医等へ

※令和4年8月2日 日本感染症学会、日本救急医学会、日本プライマリ・ケア連合学会、日本臨床救急医学会「限りある医療資源を有効活用するための医療機関受診及び救急車利用に関する4学会声明」を受け、対象年齢を引き上げ